

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2022年8月10日(YYYY/MM/DD)	
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部 学部/研究科 2 年次(Year) School/Graduate School (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学 Host University	ユヴァスキュラ大学 (国名/Country: フィンランド)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Language and Communication
在籍身分 Status at Host University	Exchange student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2022年1月3日 ~ 2022年5月31日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	将来、SDGs 貢献率が高い企業や団体に就職したいと考え、フィンランドが SDGs の達成率が上位だということを知り、人々の生活から社会の仕組みまでどのようなことに取り組んでいるのかを知りたかったため。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	約3ヶ月前、コロナの関係で行けるかどうか決定するのが遅かったため
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	ビザの申請に1ヶ月以上かかります。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type: 学生ビザ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application: フィンランド大使館
	提出書類 / Required Documents: 専用サイトから求められる情報、パスポート、銀行の残高証明書、受け入れ許可証
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process: 約1ヶ月
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	オンラインで提出する必要あり、大使館を訪れるのに予約が必要でした。
出国年月日/ Date of Departure	2021年12月22日 (YYYY/MM/DD)
経路(往路) / Route (Outward)	
現地での出迎え Pick-up Service	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff チューター) <input type="checkbox"/> 無/No
到着後オリエンテーションの有	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes 有の場合 期間/Period: 1/4 - 1/7

無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input type="checkbox"/> 無/No	(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 大学サイトへの登録の仕方、履修登録のやり方、大学の施設の紹介など
帰国年月日 / Date of Return	2022年 6月 1日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	ドーハ	

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額		円/yen
	Total Amount		
内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	19万	円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	5万	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance	6万4千	円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
	宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	22万5千	円/yen
	光熱費 / Utility Cost	家賃に含む	円/yen
	食費 / Meal Cost	10万	円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	2万1千	円/yen
	交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	5千	円/yen
	交際費 / Social Expenses	20万	円/yen
	その他 / Others (費)		円/yen
(費)		円/yen	
(費)		円/yen	

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	Each one Teach one お互いの言語を教え合う授業、週に2回、合計40時間以上 Introduction to Intercultural Communication 週にグループワークと講義の2回 Communication in Multicultural Workplace 週に1回 Survival Finnish 週に一回
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修、留学中、単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	個人ワークが多いため、計画的に進める必要があります。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦(ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style,	授業時期が日本とはスタイルが違い、学期の前半によっていたり、二週間や4日間だけしかないものもありました。そのため、取りたい授業がかぶっている場合、調整が必要です。

(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice
主食がイモです。
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing
日本より寒いですが、日本よりつらくないです。
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)
大学内はどこでも eduroam が使えるため、設定しておくの良いと思います。
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)
パーティーなどがしょっちゅうあります。
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners
特になし、フィンランド人は日本人とよく似ています。
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?
持って行くべき物：ヒートテック、化粧水、とても乾燥するので保湿クリームやリップなど
持って行くべきではないもの：カイロ、基本的に防寒をしていけば必要ありません
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad
必要な物は駅前のセカンドハンドショップに行けば割と何でも手に入ります。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2024 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 年 / year 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a “new” graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	一般企業に就職
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself	留学前に必要な単位を取っておくと後が楽です。

for your future job hunting,
acquisition of credits of
required courses and
practicum, etc.

**7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等
/ Useful Books and Website for Study and Life Abroad**

書籍, サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

とても過ごしやすい環境で生活できます。あまり心配せず、やりたいと思ったことは小さな事でも良いので何でもやってみてください。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

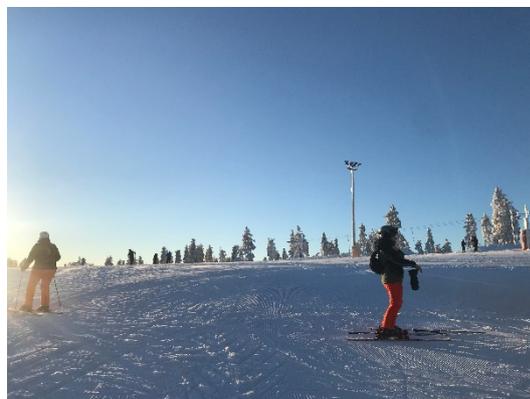
- 写真を2~3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

このフィンランド留学は私の将来の目標やなりたい姿を具体的にイメージさせてくれました。私が所属していたのは言語とコミュニケーションの学部です。留学中にコミュニケーションの授業を中心に4つの授業を受講しました。まず、「Introduction to Intercultural Communication」では、対人交流に焦点を当てた異文化間コミュニケーションのアプローチ、発展、概念を学びました。このコースでは、アイデンティティとステレオタイプ、移住と適応、異文化間コミュニケーション能力などのテーマを批判的な視点から扱います。学生はまずテーマに対する講義を受け、その後教授から与えられる論文を読み、自分なりに解釈をします。そして与えられた課題を基に、多国籍な学生からなる少人数グループで議論し自身の考えを深めます。このコースで最も興味深かったのはステレオタイプの授業で、フィンランド人2人、イタリア人、日本人でそれぞれ国のステレオタイプについて議論しました。ステレオタイプを中から見るか外から見るかで少し違いがあったのが興味深かったです。それぞれの国のステレオタイプを議論したあと、ステレオタイプの多文化社会におけるデメリットとメリットを議論しました。興味深かったのはステレオタイプに対するメリットで、例えばとてもオープンな性格の人が多い国から来た人に接するとき、その国のステレオタイプを理解していればその人とのコミュニケーションに役立ちます。多少の個人差はありますが、多くの場合、知っておくことでファーストコンタクトをより良いものにできるという事を学びました。二つ目の授業は、「Survival Finnish」、三つ目の授業は「Each One Teach One」という授業を受講しました。基礎的な文章を英語で学びます。この授業では、英語だけではなく、多言語的側面を自分のアイデンティティとして持つことができました。四つ目の授業は「Communication in Multicultural Workplace」です。このコースでは、文化的アイデンティティ、価値観、先入観、そしてそれらが多文化・多言語の職場におけるコミュニケーションに与える影響について学びます。また、信念や行動を批判的に評価し、国際的な職場における異文化間のコミュニケーションに対する理解を深めます。主な学習方法は、グループワークで、最終発表では、多文化な職場で互いの文化をより理解するためのアクティビティを提案し、学生に実際に行ってもらいます。私たちのアクティビティはまず自分の国とグループメンバーの文化の共通点、相違点を挙げ、次にそれを踏まえて多文化な環境で働くには何が必要かを考えて発表してもらうというものでした。これにより、参加者は自身と相手の文化の特性を知ることができ、多文化な環境を受け入れやすくなったというフィードバックをいただきました。また、私生活では、ギリシャ人、ドイツ人、フランス人の友達と多くの時間を過ごしました。私が留学したのは冬期だったので、他の留学生と一緒にスキーホリデーに出かけたり、ハスキーそりを体験したり、凍った湖でスケートをしたり、サウナからの寒中水泳など様々なフィンランドの文化を体験することができました。



このフィンランド留学は私の将来の目標やなりたい姿を具体的にイメージさせてくれました。私が所属していたのは言語とコミュニケーションの学部です。留学中にコミュニケーションの授業を中心に4つの授業を受講しました。まず、「Introduction to Intercultural Communication」では、対人交流に焦点を当てた異文化間コミュニケーションのアプローチ、発展、概念を学びました。このコースでは、アイデンティティとステレオタイプ、移住と適応、異文化間コミュニケーション能力などのテーマを批判的な視点から扱います。学生はまずテーマに対する講義を受け、その後教授から与えられる論文を読み、自分なりに解釈をします。そして与えられた課題を基に、多国籍な学生からなる少人数グループで議論し自身の考えを深めます。このコースで最も興味深かったのはステレオタイプの授業で、フィンランド人2人、イタリア人、日本人でそれぞれ国のステレオタイプについて議論しました。ステレオタイプを中から見るか外から見るかで少し違いがあったのが興味深かったです。それぞれの国のステレオタイプを議論したあと、ステレオタイプの多文化社会におけるデメリットとメリットを議論しました。興味深かったのはステレオタイプに対するメリットで、例えばとてもオープンな性格の人が多い国から来た人に接するとき、その国のステレオタイプを理解していればその人とのコミュニケーションに役立ちます。多少の個人差はありますが、多くの場合、知っておくことでファーストコンタクトをより良いものにできるという事を学びました。二つ目の授業は、「Survival Finnish」、三つ目の授業は「Each One Teach One」という授業を受講しました。基礎的な文章を英語で学びます。この授業では、英語だけではなく、多言語的側面を自分のアイデンティティとして持つことができました。四つ目の授業は「Communication in Multicultural Workplace」です。このコースでは、文化的アイデンティティ、価値観、先入観、そしてそれらが多文化・多言語の職場におけるコミュニケーションに与える影響について学びます。また、信念や行動を批判的に評価し、国際的な職場における異文化間のコミュニケーションに対する理解を深めます。主な学習方法は、グループワークで、最終発表では、多文化な職場で互いの文化をより理解するためのアクティビティを提案し、学生に実際に行ってもらいます。私たちのアクティビティはまず自分の国とグループメンバーの文化の共通点、相違点を挙げ、次にそれを踏まえて多文化な環境で働くには何が必要かを考えて発表してもらうというものでした。これにより、参加者は自身と相手の文化の特性を知ることができ、多文化な環境を受け入れやすくなったというフィードバックをいただきました。また、私生活では、ギリシャ人、ドイツ人、フランス人の友達と多くの時間を過ごしました。私が留学したのは冬期だったので、他の留学生と一緒にスキーホリデーに出かけたり、ハスキーそりを体験したり、凍った湖でスケートをしたり、サウナからの寒中水泳など様々なフィンランドの文化を体験することができました。

将来は、グローバルな環境で働くことができる場所で働きたいと考えています。留学で多文化共生を学術的に学びましたが、実際にその場所で働くのは全く違った物だと思います、留学中に学んだ多文化共生を実際にどうすれば実行に移すことができるのかを多文化な職場で働きながら模索し、様々な文化の架け橋となりたいと考えます。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.